



JERA石炭火力発電所は休廃止を

1号機	70万kW	1991年10月～	30年経過	超臨界圧
2号機	70万kW	1992年6月～	29年経過	超臨界圧
3号機	70万kW	1993年4月～	28年経過	超々臨界圧
4号機	100万kW	2001年11月～	20年経過	超々臨界圧
5号機	100万kW	2002年11月～	19年経過	超々臨界圧
合計	410万kW	2020年7月に1・2号機休廃止発表		

全国一のCO2排出量石炭火力の休廃止を

全国一の二酸化炭素2,545万t(2017年度)を排出する、JERA碧南石炭火力発電所410万kWの休廃止を、日本共産党は求めました。市は、国の指示に従うと答弁し独自の立場を示しません。

2030年市の削減目標わずか15.7%

国は、2030年までに46%(2013年比)CO2削減目標としています。E.U.55%、イギリス68%と比べても低すぎます。碧南市は2021年3月策定の第3次環境基本計画で、2030年15.7

再エネ・省エネで地球を守る

日本共産党は、科学者や専門家の声を集めて、「気候危機打開への2030戦略」を発表しました。原発・石炭火力発電にしがみつく自民党政治のもと、再エネ・省エネで地球を守るには、政治の転換なしには実現しません。

日本は逆行「化石賞」

11月に行われた、COP26では石炭火力の是非が大争点となりました。英独仏、E.U.(欧州連合)、ポランド、韓国、ベトナム、インドネシアを含む46の国と地域が、石炭火力の新設中止や、二酸化炭素排出削減措置を取らない石炭火力の段階廃止を明記した石炭火力の「廃止宣言」に賛同しました。日本政府は石炭火力容認の立場で「化石賞」の汚名を下されました。

2030年までに1.5度以下に

国連は、2030年までに気温の上昇を1.5度以下に抑えないと、修復不可能な状況となり、洪水、食料不足、大災害など発生を止められないと指摘しています。地球の未来を守れと若者たちが立ち上がっています。最大規模の石炭火力発電所を止め、温暖化防止に舵を切ることが、碧南市にも国にも求められています。

10月31日投票の総選挙で日本共産党は比例で416万票9議席、選挙区1議席の10議席を獲得しました。「市民と野党共闘で政権交代を」と奮闘し、前向きの変化が起こりました。

「与党勢力」は、比例得票を150万票増やしましたが、野党共闘の力で議席を19減らしました。「与党の補完勢力」は、維新の会が勢力を伸ばしましたが、4年前の希望の党と維新の会の合計との比較では、比例得票で501万票減らし、議席も20減らしました。一方、「共闘勢力」は、比例で246万票増、42議席増となりました。日本共産党2議席減は残念ですが、全体で議席増となりました。碧南市12月議会では、日本共産党市議団は気候危機、ジェンダー問題、18歳までの医療費無料化など一般質問に掲げ実現にがんばりました。

臨時国会危険な岸田政権うきぼり

総選挙後、初の臨時国会では、安倍・菅政治以上の岸田政権の危険な姿勢が浮き彫りとなりました。

- 所信表明演説で敵基地攻撃を標ぼう。
- 台湾の半導体メーカーによる工場建設支援の4000億円。
- 軍事費7738億円増額補正、総額6兆円超に。GDP(国内総生産)比2%以上倍額を掲げ、米軍兵器の爆買

い。辺野古新基地建設に801億円。

- 病床削減計画の撤回なし。
- 国交省の建設工事受注実績統計でデータの改ざん。
- 森友問題で自殺に追い込まれた赤木さんの裁判で1億円賠償し政府が強制終了、真相解明にふた。

など日本共産党の追及で、つぎつぎと問題が噴出しました。

日本共産党と世論の力で10万円現金給付

18歳までの子どもさんのいる世帯への10万円給付は、膨大な事務費のクーポン、2回支給が改善され、碧南市では12月24日に現金一括給付が実現しました。

太陽光発電で274万kW可能

環境省は「再生可能エネルギー情報提供システムREPOS(リーポス)」を始動。西三河10自治体では合計274万kWの太陽光発電の可能性があると示しています。市でも抜本的な、再エネ省エネ対策を本気で進めなければなりません。

50年80%です。11月30日現在、全国492自治体が「カーボンゼロシテイ」を表明し、碧南市の遅れが浮き彫りです。



太陽光発電ポテンシャル(可能性)と実績比較

【REPOS(リーポス) 環境省より】

	A:設置の可能性(kW)	B:H29年までの実績(kW)	達成率 B÷A (%)
碧南市	151,000	19,271	12.6
豊田市	715,000	141,957	20
岡崎市	629,000	85,087	13.6
みよし市	104,000	23,479	23
西尾市	365,000	78,889	21.6
刈谷市	223,000	30,504	13
安城市	303,000	40,743	13
知立市	96,000	12,120	12.5
高浜市	81,000	13,239	16
幸田町	76,000	11,566	15
合計	2,743,000	456,855	16.6

18歳まで入院費無料化。来年中に実施

山口はるみ議員の一般質問

一、気候危機打開

山口議員は、市の地球温暖化対策を抜本的に強化するよう求めました。碧南石炭火力発電所の休廃止とともに、再エネや省エネ対策の拡充。資源ごみの、販売・製造業者責任を求め店頭回収の普及拡大を。古紙回収への補助制度拡大を求めました。市長は、石炭火力発電所問題には答弁せず、他の制度拡充にも背を向けました。国任せでは、地球を守りません。

二、生理用品の個別トイレ常設を

「生理の貧困」で碧南市も生理用品を配布。女性の人権を守る立場で、学校や公共施設などのトイレに生理用品を常設するように求めました。千葉県君津市では企業の無料配置を利用するとともに、小中学校のトイレ個室に常設。碧南市での実施を求めました。「ジェンダー教育」の一環として子どもたちにも校則見直しを働きかけを。「特定事業主行動計画」で市職員の生理休暇の取得推進を求めました。

三、市民のために公共用地利用を

碧南駅前駐車場に、旧亀島織布跡地の利用を。伊勢区画整理地内未利用地を津波避難所として、子どもと高齢者の施設設置を。宮下市営住宅の残り90戸の建築を求めました。碧南駅も伊勢町も未定。宮下住宅は30〜40戸を予定しているが時期は未定。との答弁でした。市民の貴重な財産を早く活用していただきたいものです。

岡本 守正議員の一般質問

一、18歳まで入院費無料化、来年中実施

西三河で碧南市と高浜市が未実施となっている18歳までの医療費無料化。市長は2022年度中に入院費のみ実施すると答弁しました。しかし時期は未定。国保加入18歳までの均等割年33,700円の廃止は、1,294人3,245万円で実施可能と答えました。4月から、国制度で就学前まで半減となります。

二、くるくるバス拡充、電気バスに

くるくるバス拡充のため「地域公共交通計画」は検討するとの答弁。温暖化対策として、国は電気バス導入に半額補助を行っています。市でも1台増の5台を電気バスにし「1時間ごと」の運行を求めました。市は検討調査を繰り返すばかりです。高齢者タクシー券も安城市が2021年8月から実施したのを実施しません。

三、「憲法前文」部長が読み上げ。非核、平和を

非核宣言も国への「批准」要請も市長が拒否。平和首長会議行動計画の2021〜2025年）も実施しません。「憲法前文を読んで」の要求に、総務部長が『日本国民は、恒久の平和を念願し、人間相互の関係を支配する崇高な理想を深く自覚するのであつて、平和を愛する諸国民の公正と信義に信頼して、われらの安全と生存を保持しようと決意した。』と読み上げました。

反共は戦争の前夜

野党共闘が一步一步前進し野党連合政権実現の可能性が生まれてくる中、支配勢力は共闘つぶしと日本共産党攻撃に躍起になっています。太平洋戦争から80年、歴史の新たな検証が行われ報道されました。戦争時の日記700冊をテレビで紹介。1歳の子の成長を祈っていた母が、真珠湾攻撃に「血わき肉躍る」と歓喜の言葉を日記に書き残したことに、私は恐ろしく身震いしました。碧南市でも、戦中の大浜下地域の「町内会」記録が寄贈され、庶民が互いに

監視し、金属など私有財産を没収されても物言えぬ息苦しい時代がすぐそこにあつたと感じました。戦争はつくられる。今、岸田政権のもと軍拡、改憲の動きにノーの声を挙げる日本共産党への攻撃は、物言わぬ、批判しない国民をつくる一歩です。私もアイシンの職場で自主的に労働組合に立候補しただけで不当な攻撃を受けました。共産党への攻撃は、自由や民主主義を奪い、暗黒の時代に逆転させる道。二度と繰り返してはなりません。(山口はるみ 記)

日本共産党の参議院選挙躍進で地球と人権を守る政治に



参議院愛知選挙区 **すやま初美**



比例代表 参議院議員 **たけだ良介**

2022年夏の参議院選挙でがんばります。9条改憲、気候危機など平和や地球を守る年にするために、国民世論で、政治を動かしましょう。政権交代で憲法をいかした平和な日本。一人一人の人権が守られる社会をつくりましょう。

新しい日本をつくる五つの提案

- 新自由主義から転換し格差を正し暮らし家計応援第一の政治
- 憲法を守り、立憲主義・民主主義・平和主義を回復する
- 覇権主義への従属・屈服外交から抜け出し、自主・自立の平和外交に
- 地球規模の環境破壊を止め、自然と共生する経済社会をつくる
- ジェンダー平等社会の実現、多様性を大切に個人の尊厳を尊

日本共産党碧南市委員会



市議会議員 **山口はるみ** 市議会議員 **岡本守正** 市民運動部長 **磯貝明彦**
 ☎42-8940 ☎41-5357 ☎48-2718
 三度山町 2-70-4 笹山町 6-29 若松町 3-253

碧南市会議員団のホームページをご覧ください



12月議会の各会派の態度 (○=原案賛成 ×=原案反対)								
会派と所属議員数	共産党	みらいク	公明党	碧政会	市民ク	志政会	創政会	
議案内容	可否	2人	2人	2人	2人	3人	4人	6人
補正予算7号8号9号(～18歳、10万円支給など)	可決	○	○	○	○	○	○	○
介護福祉医療拡充の請願	不採択	○	×	×	×	×	×	×
再審法の改正を求める陳情	不採択	職務にない	×	×	×	×	×	×